

1982. 4

20年のあゆみ



湯河原ロータリークラブ

1982,4

20 年 の あ ゆ み



湯河原ロータリークラブ



▲創立10周年記念に植樹した山モミジの苗木が、20周年記念を迎えた10年間で私たちの背より大きくそだちました。会員の汗の奉仕とこれを10年間共に協力して下さった湯河原青年部の方々に感謝します。



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある；

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること；
2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は尊重されるべきであると言う認識を深めること；
そしてロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてがその個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること；

四つのテスト

言行はこれに照してから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

SERVICE ABOVE SELF



HE WHO SERVES BEST

This Certifies that the Rotary Club of
Yugawara, Kanagawa, Japan

having been duly organized and having agreed, through its officers and members, to be bound by the Constitution and By-Laws of Rotary International, which agreement is evidenced by the acceptance of this certificate, is now a duly admitted member of

Rotary International

and is entitled to all the rights and privileges of such membership.

In witness whereof the seal of Rotary International is hereto affixed and the signatures of its officers, duly authorized, are subscribed hereto this seventh day of **May** Anno Domini 19**62**.

Joseph H. Adams
John M. ...

Rotary International
John M. ...
District Governor



湯河原ロータリークラブ

創立 昭和37年4月20日(1962)
承認 昭和37年5月7日(1962)
伝達式 昭和38年3月29日(1963)
地域 湯河原町土肥広町通りより鍛冶屋・郡道線を経て東海道線より町道吉浜4号線を北上して川掘部落を除く湯河原町





R I
マッキャフリー会長
からのメッセージ

ロータリーを通して
世界理解と平和を

18 April, 1982

Mr. Shusuke Oikawa, President
and Members of the Rotary Club of
Yugawara, Kanagawa, Japan

Dear fellow Rotarians:

Congratulations to the Rotary Club of Yugawara, Kanagawa, Japan for twenty years of rewarding service! In observing the significance of this occasion, you can take much pride in the growth and recognition which your club has achieved and in the future which Rotary has in your community.

As president of Rotary International, I wish to extend my personal greetings to you and fellow Rotarians for the fine achievements your club has done in the past.

Congratulations and best wishes for continued success.

Sincerely,

A handwritten signature in cursive script, reading "Stanley E. McCaffrey".

Stanley E. McCaffrey
President,
Rotary International
1981-1982

及川修助会長並びに湯河原クラブ会員諸君
日本湯河原クラブの20年間に亘る価値ある奉
仕に対してお祝い申し上げます。此の祝日の重
要性に思いを致しますに、湯河原クラブが勝ち
得た発展と評価、並びに将来貴地域において国
際ロータリーが発展し評価されることは、大い
に誇りとするものであります。

国際ロータリーの会長と致しまして、私は貴

クラブが今迄に達成したすばらしい成果に対し
て、心からご挨拶を申し上げます。

ここにお祝を申し上げ、断えまなきご成功を
お祈り申し上げます。

1982年4月18日

国際ロータリー会長

スタンレー E. マッキャフリー

署名



創立20周年記念式典開催にあたり

記念式典実行委員長 八 亀 昌 美

湯河原ロータリークラブ20周年記念式典の開催にあたりまして、来賓の皆様方には、御多忙の中を御臨席下さいまして、まことに有難うございます。

思えば、昭和37年4月20日、穏かに晴れた春の日、天野屋新館の会議室に於て創立総会が行われ、5月7日には、米国エバンストンの国際ロータリー中央事務局より、国際ロータリー加盟の承認を戴きまして、事実上の誕生をしてから今年で20周年を迎えることになったわけでございます。

そして今、その20年間の歴史の重みに感動を覚えるとともに、20年という一つの節目を迎え誇りを持ちながらも過去を謙虚に反省し、不安を抱きながらも未来に希望を寄せつゝあります。それは明日への力強い出発でもあるわけでございます。

創立10周年の折は、私たまたま会長の重責を負う光栄に浴し、今再び20周年の記念式典実行委員長をお任せつかったわけですが、10周年の折は、その記念事業の一つとして、大観山の一角に「山もみじ」(3,655本)およそ4,000本の苗木の植樹を行いまして、以来毎年夏の炎天下、全会員が自ら汗を流して下草刈を行っておりますが、今では身の丈位に成長して居るものでございますが、それはやがて何つの日か秋の紅葉が楽しめる「山もみじの群生」の地になる

うかと思えます。それは地域社会に密着した奉仕であり、貴重な奉仕の実践の発展史的なものと云えるかも知れないと自負して居るものでございます。

今回は、一昨年新設されました県立湯河原高等学校の校庭に、初代会長天野弘之さんの御好意に依る「ミモザアカシア」の植樹を行うことになったわけですが、これも亦何つの日かそれが湯河原高校のシンボルとなるだろうことを夢みると同時に、われわれ湯河原ロータリークラブが、この20年を一区切りとして、今後如何にクラブを充実し、発展させて行くべきかに留意して、その「ミモザアカシア」の成長と共に、クラブの伝統を継承しつゝ、より良いクラブの発展と発揚が出来るように今一層の努力と精進を行うことをお誓いする次第でございます。

こゝに会員一同を代表して、本日この式典に御参加戴きました来賓各位の御厚志と御支情に対し厚く御礼申し上げますと共に、今後ますます御指導と御厚誼を賜りますようひとえにお願い申し上げます。

終りに実行委員長として本日の式典を挙げるに際し会員各位がそれぞれの委員会を通し連日一致協力ご苦心下さいましたことに対し深く感銘を覚えるとともに、今更に感謝の意を表しまして御挨拶とさせて戴きます。



会長挨拶

第20代会長 及川修助

湯河原ロータリークラブの創立20周年記念式典を迎えるに当たり、マッキヤフリーR.I.会長より丁寧なメッセージをいただきました事を御知らせ申し上げます。

本日は、国際ロータリー第259地区渡辺ガバナールを始め、多数の御来賓の方々の御臨席を賜りましたことを我々会員一同無上の光栄と心からお礼と感謝を申し上げる次第でございます。私達湯河原ロータリークラブは、小田原ロータリークラブをスポンサーとして、宮坂特別代表に依り去る昭和37年4月20日に創立され、ささやかながらロータリーの輪を拡げる努力を積み重ねつつ、早いもので20年の歳月が流れました。人間で申しますなら成人の日を迎えた事になります。今日迄その成長を見守って下さった、スポンサークラブを始め、近隣各クラブの各位の心からなる御指導とお力添えに依るものと、感謝にたえません。当クラブは箱根クラブと小田原北クラブとは兄弟のクラブであり、昭和44年には当クラブがスポンサークラブとして、湯河原南クラブが生まれました。

このクラブがすくすくと発展している事は、兄たりがたく弟たりがたし、の如く喜ばしいかぎりです。この輝かしい20年の伝統をふりかえりました時、そこには様々な歴史の積み重ねがあり、今日の伝統が創立以来の歴代会長を始め会

員各位の熱意とたゆまぬ努力によって築かれたものであります。

去年の9月の地区年次大会で、出席優秀の表彰を受け、連続4年の第一位の栄誉を得ました。私はこの栄誉が何に依って生じたかを考えました。それはまず第1に全会員が健康であった事第2にクラブ内の人と人とのつながり、心と心のふれあい、お互いの間に通じあっている暖かさがそうさせたと思います。

心を許しあえる友との出会い、友愛への尊さを私はこのクラブの誇りと信じています。

本日の20周年のお祝いを基点として、次の30周年に向っての新しい出発点と考え、私達はお互いに手を取り善意の輪を拡げて、奉仕の理想に向って前進する事を誓い、ここに改めて、御来賓の皆様より一層の御支援と御協力を、衷心より御願ひ申し上げます。

尚本日を迎える迄御骨折りを願った式典実行委員会の皆さんに深く感謝致します。

最後になりましたが本日の式典に今は亡き物故会員の方々の御冥福をお祈り致しまして、私の挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。



創立までのこぼれ話

初代会長 天野弘之

各地でロータリークラブと云う名前が人々の口の端にのぼって来た或日、新橋の第一ホテル新館の竣工披露宴で偶々佐久間バスターガバナーにお目にかかった。四方山話の序に何げなく「ロータリークラブって市でなければ出来ないのでしょうか」と問いかけてみた。佐久間さんは「そんな事ないよ日光なんか町だけで出来たものね」それでは湯河原でもやろうと思えば出来ない事はないですね」と笑って別れた。当時としては本気でロータリー創立など考えてみた事もなかった。

それから随分たってから小田原クラブの例会に出席したら多分公式訪問だったのかも知れなかったが中村米平ガバナーと岩崎裕孝分区代理が出席されて居り何かお話でもあり相な雰囲気だった。例会終了後全員残されて突然箱根と湯河原に新クラブ設立の案件が持ち出され「湯河原はどうでしょうか」と早速質問された「飛んでもない、未だ全然無理です」と答えたが何しろ相手には名にし負う岩崎分区代理がいる事として仲々放免してくれ相もなく到々一度話を持ち帰り検討する事にされてしまった。

二、三日して加藤福松さんにばったり出会ったので恐る恐るロータリー話を持ち出して見た処「とてもそんなもの無理ですよ」とにべもなくことわられてしまった。無理からぬお話でしたので何れこの話もお流れになるだろうとたかをくくって話を打ち切り全然身も入れもしなかった。私としては小田原クラブでも事情が良くお

わかりだから熱意は無いと思い、軽い気持で小田原の例会に其の後も足を運んでいましたが、どうも今井さん宮坂さんをはじめ商工会議所のお蔭々がどこからかお尻をつまかれていますらしく話が少しづつ進行して行く様に見えだした。岩崎さんなどは大真面目で「是非作れ、何なら真鶴も入れてはどうか」と圧力を加えて来た。仕方がないのでこの前おことわりをくった加藤さんに腰をかぎめて又御意向を承る事とした。あまり一生懸命に説くので加藤さんも「それでは少し研究して見ましょう」と重い腰を持ち上げはじめた。それからは加藤さんの御骨折で湯河原の重だった方々に連絡をとって頂き、小沢栄三郎さん、小沢新太郎さん、高橋柳吉さん、真鶴の橋原さん、それに加藤さんを幹事役として私を加えてキーメンが出来上った。

勿論色々意見も出ました「そんなむづかしいやゝこしいものではとてもやって行けないとそっぽを向く人もあり、どんな人を入れるのかしらと人選に苦慮する人もあり、キーメンの会合はいつもにぎやかでした。大分格好がつき相になったので小田原に報告に行ったら、箱根があまり進歩していないらしいので大変喜ばれ、お世辞を言われたり仲々好調でした。

湯河原の内部は加藤さんが一切引背負ってやって呉れるとして、あとは国際ロータリー加盟の手續をどうしたものかと問題は狭まって来ました。当時湘南電車の中でこの難題に最適の方

に良くお会いしました。現在東京地区のバスターガバナーをなさっていらっしゃる清瀬二郎さんです。恐る恐る英文で書く手続一切をお願いしたところ即座に御快諾を得てこっちは胸をなでおろしました。湯河原クラブの認証許可が創立総会より極く短時間で当時としては異例の速さでおられたのも偏に清瀬さんのお力による処です。この清瀬さんと双壁をなして下さったのが岩崎分区代理です。ロータリーの申し子みたいな方でした。岩崎さんとは「湯河原クラブはこの辺に一寸無い垢ぬけしたスマートな談笑できるクラブにしましょう。懸の最南端のちっぼけなものでも都市クラブと遜色ない雰囲気をもったものにしたいですね」と話し合った。岩崎さんは双手を挙げて賛成してくれた。岩崎さんと云うと一寸見の外観は頑固一徹の融通のきかない堅物の様でしたが度々の話し合いで実に話のよく判かる親切な世話好きな善意の方だと良く判った。その時の話し合いではロータリー規則はきちんと守ろう。法律と秩序がきちんとしていなければ良い社会は出来ない。ロータリーとても定款はきちんと守り、その中で出来るだけ自由にやっ行ってこよう。それでも特徴のあるクラブは出来るに違いない、何処のクラブへ行っても判で押した様な堅くらしいものでは意味がない。その為には話しの判かり易い会員に沢山集まってもらいたい。そして老若や派閥等は一切抜きにして裸の人間として手をつないで行きたい。

そして理想は次から次へとふくらんできりなかった。

一方新クラブの小田原では初めての子クラブなので全員力を入れてくれて先輩各位、特に特別代表の宮坂さんを初めとし、かゆい所に手がとどく様な御尽力ぶりでした。当方は何もせず宮坂さんにすがってれば万事順調に進行していった。之と平行して地元の方も加藤福松さん初めキーメンの方々が東奔西走、骨身惜しまず動いて下さったので会員も次々と集まり外郭も大分はつきりしてきた。私としては内部の事には殆んどノータッチの間に創立総会にたどりついてしまった。

創立総会中は村米平ガバナー、岩崎分区代理、宮坂特別代表、それに佐久間PG、柳瀬PG、其他のPG、清瀬地区拡大委員、更には小田原クラブの諸先輩が御出席下され、小じんまりとはしていましたが大変なごやかな集りになった。和気藹々とした身内の会合と言ってよかったし好意と友情が出席者全員に満ち溢れていた。



▲ 認承式は現観光会館の落成を待って、創立の翌年の春に行われた。参会者総数千人を超え、当時の新記録といわれた。後の方には小学校の児童楽隊が演奏に来てくれているのが見える。



20年を迎えて

初代幹事 加藤福松

創立5年、10年、15年と区切りの度に初代幹事だったと云ふことで創立当時のことを書いたので4回目の20年ともなるとどんなことを書いてよいのか迷ってしまいます。それで今回は創立に当たっての準備期間中のことを書こうかと思う。当時の記録帳を探したけどどうしたことか見当らず、たまたま創立直後の昭和37年6月8日に中村米平ガバナーから自分の年度内に公式訪問するからクラブ報告書を提出するようにとの通知を受けたけど、ガバナー公式訪問や報告書なんて云われてもどんなようにしてよいやらさっぱり判らず、天野会長やスポンサーの小田原クラブの事務長の堀さんのところへも二、三回通って指導を受けつゝクラブの各委員長さん達と相談や協議を重ねてようやく報告書提出日の前日に曲りなりにも出来上り、郵送では間に合わないのでガバナー事務所へ電話で問い合わせたところ、ガバナーは今晚は横浜のニューグラ

ンドホテルに宿泊の予定とのことだったので急いで夕方の電車で横浜に行き、ホテルのロビーでガバナーに報告書を提出して一安心して帰って来た時のことが目に浮ぶ。

何しろ4月20日に創立されロータリークラブのロの字も判らぬ正味1ヶ月半位後に受ける公式訪問だから、会員全部が戸惑ってしまったのも無理はない。今日の公式訪問への準備から考えればうそのような緊張の連続だった。

ガバナー公式訪問に対する当クラブの報告書第一号の中にクラブ創立の経過のあらましが記載されてあるのでそれを転記して私の責をはたしたいと思います。

今まで創立当時のことについて私が書いたものと重複するところも多分あると思うけど、第一号の報告書の一部の転記で20周年記念誌の一端としてはしい。



◀昭和38年3月29日(1963)
承認状伝達式

第一回準備会

日時 昭和37年2月26日 午後3時
 場所 天野屋旅館新館
 天野弘之氏提唱により湯河原ロータリークラブ
 (仮称) 結成につき準備会開催
 出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、小沢新
 太郎、榎原正愛、加藤福松
 決議 1. 小田原ロータリークラブをスポンサー
 クラブとして湯河原ロータリークラブ
 (仮称) を設立すること。
 2. 本日会合の6氏をキーマンと決定。

第二回準備会

日時 昭和37年3月2日 午後2時
 場所 天野屋旅館新館
 出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、小沢新
 太郎、榎原正愛、加藤福松
 決議 1. 当初25名位にて発足のこと。
 2. 来る3月15日各地区(真鶴・吉浜・温泉場
 ・奥湯河原)予想メンバー持寄りのこと。

第三回準備会

日時 昭和37年3月15日 午後3時
 場所 天野屋旅館新館
 出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、小沢新
 太郎、榎原正愛、加藤福松
 スポンサークラブ小田原ロータリークラブ
 より指導として
 飯沼相三郎 小田原ロータリークラブ理事
 佐藤 兼吉 “ “
 井上 仙蔵 小田原ロータリークラブ幹事
 八亀 武雄 湯河原町長
 橋本 徳治 真鶴町長
 チャーターメンバー 浜田三郎、平井吉之助
 矢ノ下美知雄、三氏欠席の外全員

湯河原ロータリークラブ創立総会次第(案)

- 1. 開会の辞 スポンサークラブ幹事 井上 仙蔵
- 1. 君が代斉唱
- 1. 来賓紹介 特別代表 宮坂寛次郎
- 1. 経過報告 同上
- 1. 議事 議長 特別代表
- 1. 役員選任 同上
- 1. 役員発表 同上
- 1. 会長挨拶 湯河原クラブ会長
- 1. メンバー紹介 中村米平ガバナー
- 1. ガバナー告示
- 1. 来賓祝辞
- 1. 閉会の辞 湯河原クラブ副会長

以上

準備会は和気あいあいのうちにも極めて厳粛に行われ定款の決定並に役員選任は議長一任として定款は別添標準ロータリークラブ定款並に推奨クラブ細則に則り、役員は別項の通り決定した。

理事会長 天野 弘之 幹事 加藤 福松
 理事 副会長 小沢栄三郎 会計 八亀 広蔵
 理事 小沢新太郎 会場監督 八亀 昌美
 “ 榎原 正愛 理事 高橋 柳吉

” 伊藤 鶴松

職業奉仕委員長 小沢新太郎
 社会奉仕委員長 榎原 正愛
 国際奉仕委員長 高橋 柳吉
 クラブ奉仕担当理事 小沢栄三郎
 尚ロータリークラブ関係の来賓及八亀湯河原、橋本真鶴両町長からも丁寧な祝辞を頂戴した。式後盛大なビールパーティーでクラブの発展を祝し、仮クラブとして発足した。又、定款中に入会金 ¥ 10,000.00 会費年額 ¥ 20,000.00 例会日 毎週金曜日午後12時30分より1時30分、例会場 西相信用金庫本店会議室と定められた。

特別代表 宮坂氏 事務員 堀氏 出席
 決議 1. チャーターメンバーとして次の通り24名を決定。

湯河原ロータリークラブチャーターメンバー

天野 弘之 日本旅館 杉山 実石油販売
 五十嵐寅治 ホテル 柏木 英雄 幼稚園
 八亀 昌美 日本料理 加藤 福松 請負業
 平井吉之助 石材販売 脇山 長男 港灣建設
 橋本 平三 住宅経営 松井 利男 信用金庫
 小沢栄三郎 不動産賃貸 矢ノ下美知雄 短期金融
 八亀 広蔵 温泉経営 榎原 正愛 織維品販売
 吉光 関爾 耳鼻咽喉科医 直居 重雄 ゴルフコース
 平間 茂夫 歯科医 佐藤 咲三 ヘルスリゾート
 中根 孝保 医学研究 高橋 柳吉 観光事業
 伊藤 鶴松 旅館組合 小沢新太郎 柑橘栽培
 熊本 賢三 精油製品販売 浜田 三郎 病院

2. 小田原ロータリークラブへチャーターメンバー提出のこと

第四準備会

日時 昭和37年4月4日 午後2時
 場所 天野屋旅館新館
 出席者 天野弘之、高橋柳吉、小沢栄三郎、小沢新
 太郎、榎原正愛、加藤福松
 スポンサークラブ小田原ロータリークラブ
 より指導のため 掘事務員 出席
 決議 1. 創立総会を次の通り決定
 日時 昭和37年4月20日 午後1時
 場所 天野屋旅館新館ロビー
 2. 各チャーターメンバーの職業分類再確認
 3. 定款案決定
 4. 4月9日(月)小田原ロータリークラブ例会をキーマンは見学のため出席のこと。

創立総会

日時 昭和37年4月20日 午後1時
 場所 天野屋旅館新館ロビー
 来賓 中村 米吉 地区ガバナー
 柳瀬 省吾 パストガバナー
 湯浅 恭三 ガバナーノミニ
 清瀬 二郎 拡大委員
 岩崎 裕彦 第二分区代理
 宮坂寛次郎 特別代表
 武田 国三 小田原ロータリークラブ会長
 今井徳左衛門 小田原ロータリークラブ幹事



湯河原ロータリークラブ 創立20周年を祝して

R.I. 第259地区ガバナー 渡辺嘉造伊

昭和37年4月20日、24名の創立会員を以って小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして誕生した湯河原ロータリークラブが今年創立20周年を迎えた事は誠に慶賀の至りであります。

湯河原は、万葉の昔から知られている豊かな温泉地であり、近年特に千歳川に沿って発展したいでゆと温暖な気候に恵まれた観光都市で、毎年多勢の観光客の来遊のあるためか、非常に都会的の雰囲気溢れている所であります。

此の様な土地に創立された湯河原ロータリークラブは設立以来多くの業績を積み重ねて、此の間常に地域の文化、福祉その他種々の面で指導的の役割を果しつつ、今日に至っております。

例えば、かつて10周年記念行事としては城山山頂に山モミジの林を育成して、その後毎年その下草刈りやその他の保護管理に全会員自身が労力奉仕をしております。

又15周年事業としては、地域内各所に設置した看板や湯河原駅前に寄贈したベンチ等の整備

管理を行い、町全体の美化に全会員がマッキーフリー R.I.会長の提唱通り体を働かせ、汗を流した奉仕活動を行っております。

聞く所によれば、本年は創立20周年を記念して、新設の湯河原高等学校の校庭にミモザアカシアの植樹をして、同校生徒の情操教育に役立たせ、地域の青少年の育成や高齢者の慰安等、常に地域に密着した奉仕活動を活発に続けております。

これらの輝かしい多くの業績は、歴代の会長、幹事さん始め全会員が一致団結してクラブの運営に努力して来られた結果であると心から敬意を表します。

本年のこの意義ある20周年の記念式典を一つの跳躍台として、今後も益々ロータリー精神を発輝して奉仕の理想に一層ご精神下さいます様念願し、貴クラブのご発展を期待致すものであります。



創立20周年のお祝

パストガバナー 佐久間長吉郎

私の一番古い記憶では、明治の末、国府津から熱海まで人車鉄道があって、吉浜の長汀を、あの山奥に湯河原と云う温泉町がある。駅の名は多分、門川であったと思う。更にこれが経便鉄道となり、丹那トンネル開通と同時に、湯河原も東海道線の一駅となった。私は少年の頃から熱海に行く機会が多かったので、湯河原にはたまに足を運んだ。天野屋は、当時の第一流の旅館で、私どもは近寄る機会もなかったが、藤木川はその時分から今日まで、昔の流れを続けている。懐しい曾遊の地、早くロータリークラブが生まれ、ばと思っていたところ、天野弘之君始めキーメンバーの努力によって小田原から分かれて湯河原ロータリークラブが発足した。それも昨日のように思われたが、既に20年も前と

なり、輝しい実績を積み上げて、神奈川県内クラブとして小田原とともに重きをなしている。これも偏に天野君をリーダーとする新進の会員の努力によるもので、最初のクラシフィケーションの選定の困難、或は激しい政争を克服していった古参会員の努力によるものと、誠に感嘆に堪えない。ロータリーの真意をよく理解し、また子クラブの創立当時からその成長を見守っていた私には、この上もない満足であります。

創立20周年の記念式典を挙行されるに当たりまして、歴代会長以下の役員の方々の労を謝し、会員諸君のロータリー精神の發揮に多大の敬意を表し、湯河原ロータリークラブの御発展を、心からお祈りする次第であります。



◀昭和38年春行われた認承式でのスナップ。今はなき当時の中村米平直前ガバナーのお元気な姿が写っている。湯浅ガバナーの姿が見られないのは、丁度演台に立たれていたのである。中央におられるのが、お若い頃の佐久間パストガバナー。